

この地震防災マップは大館市のホームページでも見ることができます。

※お問い合わせ先：市役所都市計画課 (TEL:0186-43-7084)

● 地域危険度マップとは

「地域危険度マップ」は、町丁・大字ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、その割合と50mメッシュ単位の揺れやすさをもとに全壊すると予想される建物の割合を表示したものです。危険度の数値が大きくなるほど地域で被害を受ける建物の割合が大きくなります。

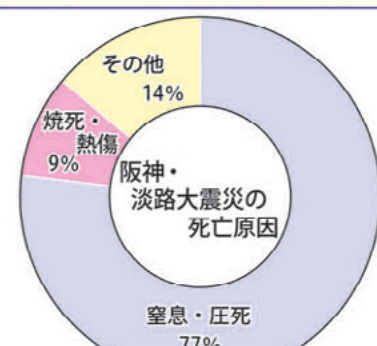
揺れやすさマップ <地域の揺れやすさ> メッシュごとの揺れやすさ

地域危険度マップ <建物被害の危険度> メッシュごとの建物が全壊すると予想される割合

町丁・大字ごとに建築年代や構造を考慮した建物分布

● 恐ろしい家屋の倒壊

地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災での死者の約8割を占めていました。



『阪神・淡路大震災調査報告 総集編』阪神・淡路大震災調査報告編集委員会(2000)、厚生省大臣官房統計情報部『人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況』(1995.12)より作成

皆さんの生命・財産を守るためには、住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。

● ご自宅の耐震性について確認してみましょう。

- ① 建てたのは昭和56年(1981年)5月以前である。
② 過去に浸水、火災、車の突入事故などに見舞われたことがある。
③ 壁や基礎にひび割れがある、傾いているのが分かるなど老朽化している。
④ 建物の平面の形状や、偏って大きな窓があるなど耐震性に関わる問題がある。
ひとつでも当てはまれば、建築士事務所などに相談してみましょう。本市では、耐震診断費及び耐震改修費の一部補助を実施しています。補助についての詳細は、市役所都市計画課 (TEL:0186-43-7084) までお問い合わせください。

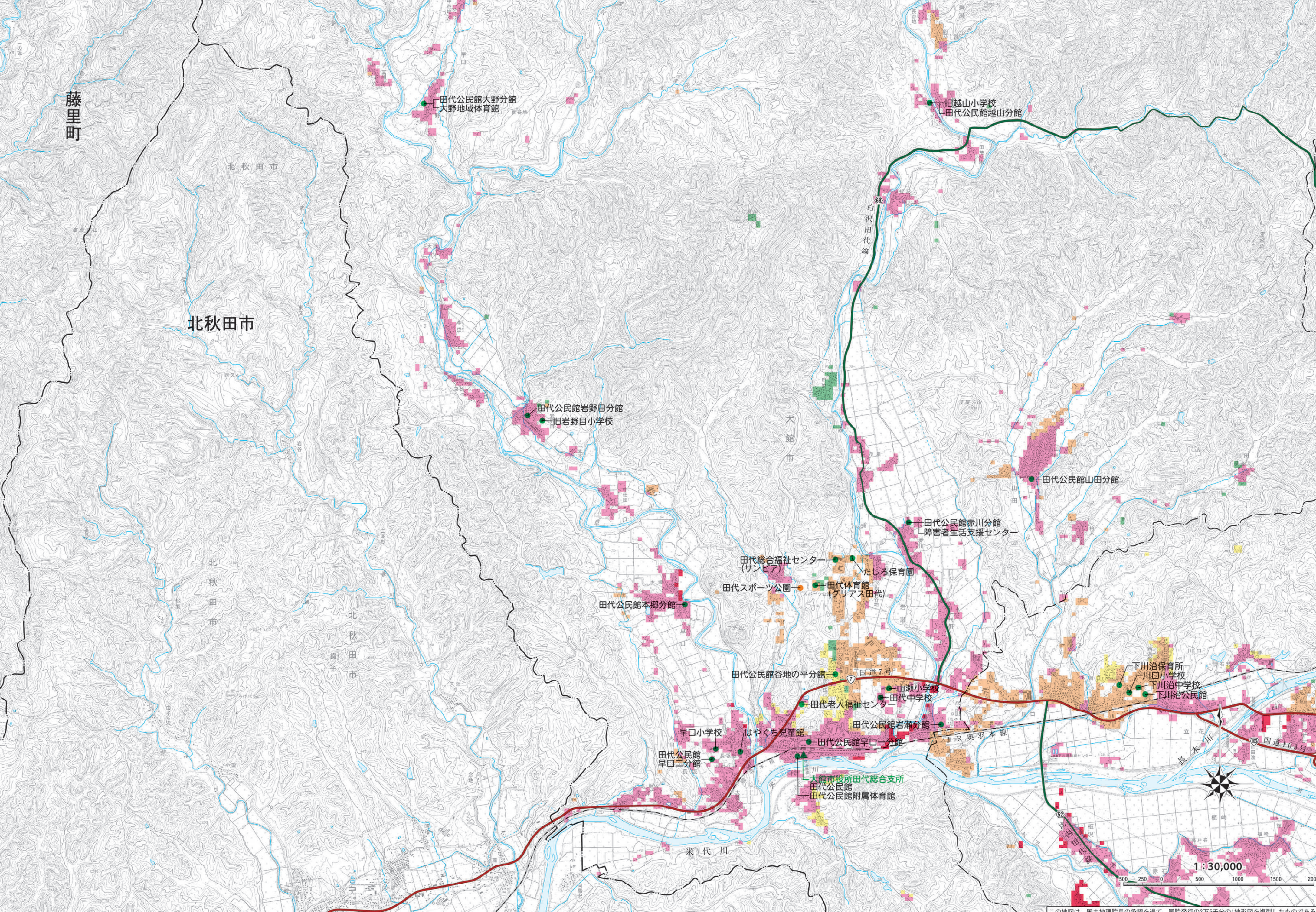
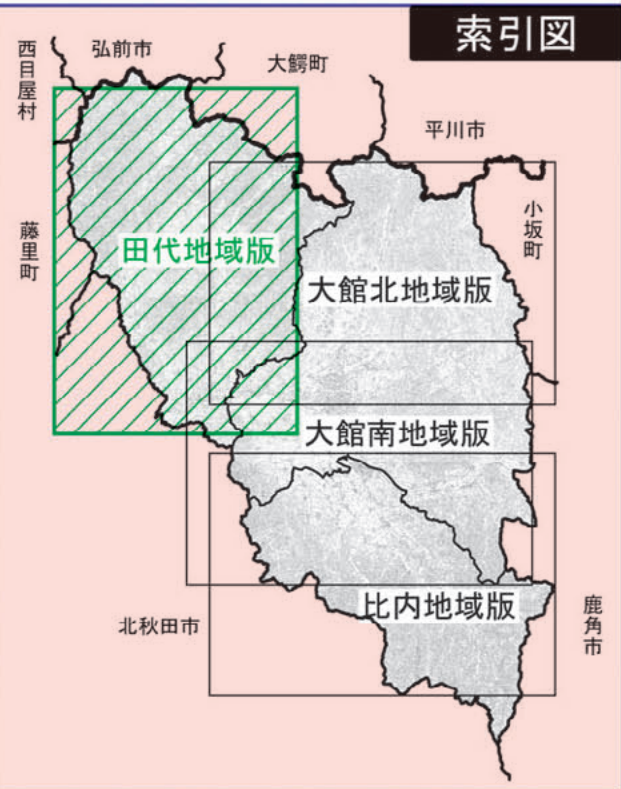


Table of disaster-related contact information including names, phone numbers, and locations for various municipal and regional offices.

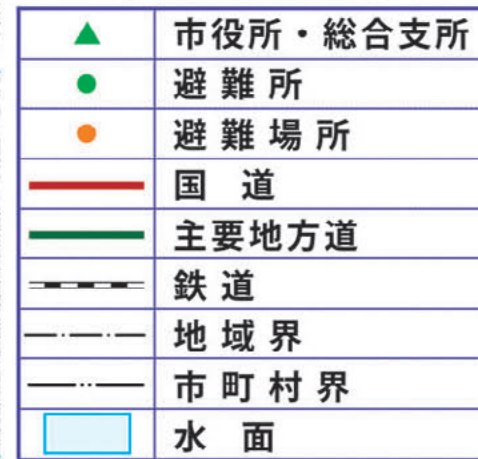
Table of emergency medical facilities contact information including names, phone numbers, and locations for hospitals and clinics.

地域危険度凡例



※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」(平成13年6月)の中では、「住民がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

凡例



この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の25万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平22家規、第707号) 無許可で複製することを禁ず。